

令和6年度 第3回 理事会議事録

日時:令和6年7月 23日(火)19:00~20:30

場所:ZOOM(オンライン)

出席:(理事)磯野、高村、小林(司)、井村、有泉、大西、鮎川、
上田、平賀、渡邊、鈴木、菊池、古屋、山下
(部長、副部長)藤原、丸茂、平賀、清水

書記:中里

会員管理情報

慶事1件 弔事1件

施設数 152 会員数 946 名(施設 900 名 自宅 46 名)

磯野会長より挨拶

関ブロの 50 周年の記念誌の担当として動き始めているがこの部分に関しては有泉副会長に引き継いでお願いしている。

10 月に行われるリハケア大会に是非皆さんにご参加いただきたい。リハケア大会にあたって理学療法士会として寄付をお願いしたい。OT、ST も寄付のご検討を。寄付金は 5 万円くらいを想定している。

県士会の中で横のつながりを作りたい。施設の代表者会議を作っていきたい。最初は県士会の活動を理解していただく、知っていただくことから情報発信ができたり協力体制が築けたりすることを目標にしていく。

I. 審議事項

1. 「RUN 伴やまなし 2024」協力依頼について:認知症対策委員会

日時:9 月 21 日(土)10:00~15:00

場所:イオンモール甲府昭和 1 階 さくら広場

内容:「RUN 伴やまなし 2024」のイベント

審議

3~4 人の委員で、ロコモチェックやハンドブック等のグッズの配布を考えています。去年と同様に広報部からビブスや上り旗を貸して頂きたいのと、エコバック等の広報グッズを 100 個ほど頂きたい。

協賛金 3,000 円は認知症対策委員会の予算で支払う予定。

質疑

・専門職団体協議会にもともときていたものだが、いつも PT、OT、ST に分かれブースを出させてもらっている。その関係で PT としてそのまま協賛金を払って出した方がいいだろうという判断でお願いしたい。

・去年は暑かったので今回は室内のイベントで良かった。
・イオンモールのイベントでは、上り旗が倒れてお客様にあったことがあるからやめてほしいとのこと。主催者の方に一度確認した方が良いか。もともと高さが 1.5m 以上のものはだめと言われていた。

・エコバックの広報グッズについて、100 個前提で話を進めてよいと思うが、それだけ出せるか広報部の中込先生に確認をお願いしたい。

・毎年 7 月末に県の方からねんりんピックの申し込みが来

ているが、今年は来ていないのでおそらくブースはないと思う。その辺も相談していただけるとありがたい。

結果

・広報部と協力しながら進めていく

2. 認知症対策委員会 研修会について:認知症対策委員会

日時:12 月 3 日(火)19:00~20:30

開催:オンライン研修(ZOOM)

講師:國枝洋太先生(順天堂大学)

テーマ:認知症基礎知識とリハビリテーション

審議

ポイント申請として、申請:区 コード番号 133「認知症・MCI の理学療法」1.5 ポイント申請したい。平日の夕方で座学であることや、多くの県士会員が参加しやすい環境を考えるオンライン研修が良いのではないかと考え企画した。

質疑

・カリキュラムコードが、3 回同じテーマであったので別のものにされた方が良いか。登録理学療法士の更新ポイントとして使うのであれば同じカリキュラムコードで複数回審査できないので、色々なカリキュラムコードで 50 ポイントをとった方が良いか。

→清水先生にご相談させていただいて再度報告を行う。

結果

・研修会の内容については承認。

3. 山梨県理学療法士会承認セミナー開催について:生涯学習局

日時:7月30日(火) 開始17:30 ~ 終了18:30

会場:山梨リハビリテーション病院

内容:臨床研究について

審議

・院内勉強会をポイント申請対象にしたい。

質疑

・どなたが講義されるのか。

→生涯学習局スタッフ主任の佐藤大地が講義を行う。

結果

・内容について承認

4. 学術・研修部の協会の新包括的会員管理システムの閲覧・承認・変更権限に関して:学術局 学術・研修部

承認・変更権限に関して:学術局 学術・研修部

内容:学術・研修部ではこれまでの学術研修部主催の研修会に加え、企画研修部主催の研修会も開催していくことから、事業数が増加する予定となっている。そのため、研修会費用徴収における円滑な作業進行のため、クレジットカードによる決算を導入したい。

審議

クレジットカード決算を導入するにあたり、協会の新包括的会員管理システムの閲覧・承認 変更権限による申し込み状況の把握が必要となるため、学術研修部へその権限を付与していただきたい。

質疑

・クレジットカード決済されたお金は学術研修部に入るとい設定にできるのか。それとも財務や県士会の通帳口座に入る形になるのか。それによって業務の煩雑さが出るのか思った。

→クレジットカードの決済先がどちらになるか確認ができていない。日本協会に直接確認する。

・山梨県士会の学会は翌月に指定した口座に振り込まれる。

・会員管理システムの閲覧・承認 変更というのは何がどこまで閲覧でき、何をどこまで変えられるのか。管理規定はあるのか。誰が見てもいいものなのか。

→管理規定はない。新しい会員管理システムが導入されたことを協会に言われたときに権利を有する人は県士会で15人まで。権限を付与できるのは3種類まで(①総務部がやっている仕事②財務関係が閲覧できる権利③生涯学習システムでポイント付与などを管理できるもの)。

・アクセスする際にログが残るのか

→アクセスできる人が決められているが、パスワードがあればログインできる。

・個人情報扱うのに規定がないのは問題。

→個人情報を取り扱うため、権限付与に対する取り決めはしっかり行っていく必要がある。権限の必要性の洗い出しと、今後必要と思われる部署を確認し、取り決めを行っていく。

・クレジットカード払いになると手数料が発生する。手数料が差し引かれた分の収入になると考えられる。その辺も踏まえてクレジットカードを移行していく対応を考えていただいた方がよいと思った。

結果

・権限付与に対する規定を定めていく

・手数料の問題がある

・口座はどこで管理されていくか確認していく

※権限付与に関しては保留とし、ある程度規定が定まってから再検討していく

5. 2024年度第2回学術研修会のアーカイブ配信、ポイント申請および参加費の徴収について:学術研修部

日時:2024年9月27日(金)、10月18日(金)、11月15日(金) 各日19:00~20:00

開催:オンライン開催(研修後1週間はアーカイブ配信を行う)

内容:認定・専門理学療法士の更新点数3点および登録理学療法士の更新ポイント3ポイント(カリキュラムコード:区分4-54 神経・筋機能制御)は、3回研修会当日参加者へ付与するものとし、アーカイブ配信の視聴は更新点数、ポイントの付与対象としない。また、研修会の参加費は前回の理事会で無料としたが、クレジットカード決済が可能となれば、県士会員1,000円、県外会員、非会員2,000円とする。

審議

オンラインのアーカイブ配信を行うことにより、①参加者が研修会後に内容を振り替えることができる、②研修会当日に参加出来ない会員に対して受講出来る機会を与えることができる。以上より、より多くの方に参加していただけるものと期待する。一方で、更新点数、ポイント付与について、アーカイブ配信を視聴した参加者が適切受講しているか、受講状況の管理が困難となるデメリットがある。そのため、研修会当日にZOOMの入退室管理および研修会終了後のアンケート回答をリアルタイムで行い、受講が確認できた参加者のみ研修ポイントを付与することが妥当であると考え。今後、オンライン形式による研修会を行う機会が増えることも予想される。そのため、研修会参加費の徴収は適切なポイント付与、当日のキャンセル者減少に繋がると考える。

質疑

・参加費は取れるのか。

→現状難しいと思われる。

・アーカイブとオンデマンドは何が違うのか。

→アーカイブはリアルタイムでやっていたものを後日参加申し込みした人がもう一度視聴することができる。オンデマンドと大きな違いはないかと思う。

結果

・参加費の徴収はなしで進めていく

II. 報告事項

1. 令和6年度第1回がんリハビリテーション推進委員会

会議報告:がんリハ推進委員会

開催日時:令和6年7月4日(木)19:00-20:00 Zoom オンライン会議

参加者(敬称略):山田洋二委員長(帝京科学大学)、遠藤浩委員(山梨大学医学部附属病院)、中島秀太委員(山梨県立中央病院)、宮下良美委員(どちペインクリニック)、上田 修理事(恵信リハビリテーション病院)

・議事内容

1. 令和6年度事業計画の確認。

1) 研修会開催

山梨県委託事業がんを持つ方のリハビリテーション公開講座

山梨県委託事業がんを持つ方のリハビリテーション専門職研修

がんに対する理学療法研修会の開催

2) 活動推進事業

NPO 法人がんフォーラム山梨主催「山梨がんフォーラム」への参加(10/6, 12/22)

2. 審議事項

1) 役割の決定

会計:遠藤 書記:中島、宮下

2) 研修会のテーマについて

がんリハ実施施設以外の山梨県内全体へ発信する内容とする。

急性期~生活期の全領域に向けて発信し、がんに対する

関心を高められるよう企画を練る。

維持期から緩和期のがんリハについて、静岡がんセンターの田尻先生(作業療法士)と理学療法士の先生へ打診する。

次回会議日程

8月14日 19時-20時

質疑

・がんリハは県から委託された事業で行っているものか。PT士会だけが委託を行っていたのか。

→1 番の研修会の公開講座と専門研修は 3 団体。がんに対する理学療法研修会は PT のがん推進委員会で開きたい。

・研修会は同じ日に行うのか。

→別日で行う。委託事業は委託事業で企画している。今年から県士会員向けの企画となっている。

2. ①「介護予防推進・健康増進キャンペーン」報告②山梨日日新聞、東京 3 誌(毎日、読売、朝日)への広報記事掲載について③士会 X 投稿について:広報部

① 7/14(日)イオンモール甲府昭和店にて介護予防推進・健康増進キャンペーンを実施した。感染緩和となり約 5 年ぶりに地域でキャンペーンを開催することが出来た。店内のイベントスペースに、介護相談コーナーと健康チェックを設置した。パンフレット及びグッズは 400 個配布、健康チェック参加者は 52 名、介護予防・健康に関する相談は 2 名であった。パンフレット及びグッズは 300 個配布、ロコモテスト参加者 10 名、介護予防・健康に関する相談 1 名であった。

② 理学療法の日及び理学療法士の活動啓発目的に新聞掲載した。山梨日日新聞、東京 3 誌ともに 7/14 にイベント開催の記事を掲載。

③ 当日は毎日新聞と読売新聞が取材に訪れた。

④ 当士会の X にて情報公開を実施した。

感想:

① 地域の方々に理学療法や介護予防に対する広報活動が行えた。連休中日の日曜日に開催したことにより家族連れも多く、小児から高齢者まで幅広い年齢の方に参加して頂き盛況であった。またイベント開催場所を変更し、5 年前と比べ健康チェックの参加者が約 5 倍(10 名から 52 名)と多かった。また配布したグッズも 100 個増やしたが、全ては配布することが出来た。

② 新聞掲載や当日の取材、X への投稿を通して、士会の広報活動が行えたと考えられる。

③ 今年は開催場所が初めてだったので手続きに時間を要した。次年度に向けイベントの場所や内容について検討が必要と思われた。

質疑

・取材に来た後はどうなるか→確認できていないため、今後

確認していく。

・上り旗は使用してはいけないとのことだったので上り旗以外の何か目立つようなものがあればいいと思う。

→会場使うのが初めてで容量がわからなかった。担当の方とのやり取りも遅かったので反省しながら次回もイオンモールでやっていくのであればそこら辺も含めていいようなものを考えながら作ることや必要なものを用意できればと思っている。

・イオンモールのホームページでイベントの広告とタッチパネルの中にも理学療法のイベントを行っていることを載せていただいている。

・RUN 伴の中でロコモチェックをやっていただいている。かなり人気なのでこういった形の方がたくさんの方に参加していただけるのではないかと思うのでご検討していただければと思う。

・広報の仕方についてラジオは無料で宣伝することができるのでその辺の情報共有できればよいと思った。

→テレビ、ラジオ、新聞はものによっては無料なものもある。FM はお金がかかる。また、広報グッズとしてバルーンみたいなもので広告するのはどうか。

3. 「令和 6 年度 健康安全運動講座」について:社会局 委託事業部

上記内容にて ダイハツ工業株式会社より、講師派遣依頼を受け無事終了した。

日時:甲府店 6月25日(火)9時~12時

富士吉田店 6月26日(金) 中止

派遣士会員: 甲府店 市川普隆(白根徳州会病院)

野澤和矢(甲州聖愛ハッピークリニック)

小澤樹里(甲府共立病院)

古屋伴仁(韮崎市立病院)

参加者:甲府店 11名

目的:ダイハツ工業、日本理学療法士協会、自治体が連携したプロジェクトである。高齢者の運転を促すことが目的ではなく「自由に移動できること」介護予防が目的

内容:身体測定(握力測定、片脚立位、5回立ち上がりテスト) スライド講義

質疑

・特になし

4. HP 管理者の選定について(お願い)

県士会 HP については、HP のプラットフォームにあたる部分の管理を中込先生(山田整形外科)にお願いしていたが、今回の役員改選を機に職を退きたい旨の申し出があった。

もし、PC などの操作に長け、将来的に HP のリニューアル等にも関われそうな人材がいたら推薦してほしい。

現在の HP はプラットフォームを業者から購入したものである。

その管理運営は士会に一任されているため、業者はあくまでプラットフォームの提供までである(プラットフォーム自体の形式を変えたりする場合などは、業者に料金を支払ってその作業をお願いする)。

中込先生が行っていたのは、「士会からのお知らせ」と「研修会情報」以外の部分の内容の追加や修正、外部からの不適切な投稿がないか、などを行っている。

今回その作業を引継いでいただけるスタッフを推薦してほしい。また、将来的に HP 自体のリニューアルも視野にいれ、PC 操作等に明るい人材がいたらぜひ協力をお願いしたい。

質疑

・特になし、周りに PC 操作が得意な方がいれば推薦をお願いする。